

事業報告書

(課題解決特別事業)

申請団体名：木田まち自治会

令和2年度浜田市まちづくり総合交付金 課題解決特別事業 事業報告書

事業名
木田美観 木田魅力アップ事業

事業費（予算額）：500,000円（まちづくり総合交付金課題解決特別事業：500,000円）

P 事業の目的（解決を目指す課題）や見込まれる成果
地域の空き家・耕作放棄地を住民が把握し、現状で放置した時を想定し、空き家の整理や耕作放棄地を整備、活用する取り組みを行う。また、防災の取り組みとして地域の防災マップを作成し、自主防災の意識を高める。

D 事業の概要

- ・耕作放棄地の活用を再度部会で検討。
- ・耕作放棄地の管理者の承諾を得られたところの草刈りなどの整備をし、ひまわり、あじさい、コスモスなどを植えた。
- ・ひまわりは種を収穫し「ひまわり油」の搾油が成功。
- ・これまでの取り組みをまとめた木田地区の防災マップを作成

C 課題の解決度合（10段階の自己評価）

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10

									○	
--	--	--	--	--	--	--	--	--	---	--

・上記評価の理由
元々は地域が考える課題として取り組んだが、1年目は住民への周知が弱く関わる人も少なかった。2年目にしてやっと協力者が増えたように思う。3年目の今年度は住民のアイデアや意見も出るようになり、関心をもつ人も増えた。特に耕作放棄地活用は地域で活躍できる人を増やす事を目標とし、各々がやりがいを持てる事を大切に活動した。これまで行ってきた取り組みを次年度も継続することとし、楽しみながら意欲をもって取り組む人が増えた。

A 耕作放棄地の活用は、様々な人が携わりひまわりやコスモス、あじさいを植え、景観を良くするよう取り組んだ。ひまわりは「ひまわり油」の搾油にも成功し、形になったことから住民のやる気が一気に上昇。来年へ更なる目標ができた。防災マップの作成は業者に依頼したがその内容は住民で考えDIGの体験なども行い、また公民館事業の「木田さんぽ♪」での危険箇所の確認もできた。今後は自主防災の取り組みにも繋げていき、住民の防災意識を高め、地域の力をつけたい。多世代が関わる、継続できる取り組みを今後も行っていく。

